



川崎市環境総合研究所 共同研究事業成果報告会の開催について

1 趣 旨

川崎市環境総合研究所では、優れた環境技術情報の収集・発信や産学公民連携事業を通じて、地球環境・地域環境改善への取組を推進しております。本報告会では、平成25年度に実施した環境技術に関する共同研究事業（7件）の成果について報告いたします。

2 開催日時 平成26年3月17日（月）13：30～15：50（13時10分開場）

3 開催場所 川崎生命科学・環境研究センター 1階 大会議室

4 主 催 川崎市環境総合研究所

5 プログラム

平成25年度共同研究事業の紹介

(1) クラウドコンピューティングにおける環境情報サイクルの構築に向けた実証研究

－ 共同研究者：JFE エンジニアリング 株式会社 －

様々な環境情報のうち、全国の地中熱利用設備の関連情報を収集して、地中熱の利用促進に役立つ情報活用手法の研究を行いました。

(2) 省電力圧電センサーシステムの医療及び福祉への応用研究

－ 共同研究者：株式会社 セラテックエンジニアリング －

振動発電技術を用いた圧電センサーと情報解析、無線通信技術を組み合わせ、医療・福祉分野における環境技術の具体的な応用に向けた研究を行いました。

(3) 環境資源の有機的連携に向けた研究—持続可能なライフスタイルの選択に向けた消費者受容性・市民性・社会基盤に関する総合的研究

－ 共同研究者：学校法人五島育英会 東京都市大学 －

持続可能なライフスタイルの構築に向けて、中間支援組織の果たす役割に注目し、中間支援機能を発揮するための方策や更なる機能強化について研究を行いました。

(4) 川崎市の「人」「場所」「情報」を活用した環境・まちづくり意識の普及啓発手法の構築・実践と効果検討、及び持続的展開手法・促進方策等の提案

～「エネルギーまち歩きワークショップ」プログラムをツールとして～

－ 共同研究者：株式会社 エックス都市研究所 －

エネルギーをテーマとしたワークショッププログラムの開発、実践を通じて、環境教育の持続的展開手法、促進方策について研究を行いました。

(5) エアロゾル複合分析計のフィールド評価

－ 共同研究者：富士電機 株式会社 －

PM2.5の成分がリアルタイムで測定できる新開発のエアロゾル複合分析計のフィールド実証を行い、分析計の有用性の検証を行いました。

(6) 直流給電方式による省エネ型電源に関する研究

－ 共同研究者：東京整流器 株式会社 －

パワーコンディショナーを使用しない直流給電方式の太陽光発電と蓄電池を組み合わせた省エネ型電源システムにより、直流給電技術の有用性について研究を行いました。

(7) SBEM(ショウエイ・ベイジング・エコメカニズム)による環境負荷低減効果に関する実証研究

－ 共同研究者：株式会社 ショウエイ －

省エネ、創エネ技術と遠隔監視技術をパッケージ化したシステム全体の環境負荷低減効果の検証を行いました。

■会場案内



○会場

川崎生命科学・環境研究センター
1階 大会議室
川崎市川崎区殿町3丁目25番13号

○交通機関

【バスでお越しの場合】

・「川崎駅前」(東口) から臨港バス川02 殿町行き
約30分乗車 「殿町」下車 徒歩5分

・「川崎駅前」(東口) から臨港バス川03 浮島バス
ターミナル行き 約30分乗車
「大師河原」下車 徒歩10分

【電車でお越しの場合】

京浜急行大師線「小島新田」駅から
徒歩20分

■申込方法

下記のいずれかで御申込みください。

① 電子メールによる申込

参加申込書に必要事項を御記入の上、川崎市環境総合研究所都市環境課へ電子メール
(30sotosi@city.kawasaki.jp)にて御申込みください。

※電子メールの件名に、「成果報告会の参加申込」と記載してください。

② FAXによる申込

参加申込書に必要事項を御記入の上、FAX(044-288-3156)にて御申込みください。

申込締切 平成26年3月14日(金) 必着

◆お問合せ：川崎市環境総合研究所 都市環境課 (産学公民連携担当 深堀・豊田)
〒210-0821 川崎市川崎区殿町3丁目25番13号
川崎生命科学・環境研究センター3階
電話番号 044-276-8964 FAX番号 044-288-3156
電子メール 30sotosi@city.kawasaki.jp